

持続可能な社会実現への 地域融合キャンパス

～北海道発ESDプランナー養成・認証プロジェクト～

取組大学名:北海道教育大学

実施主体:釧路校地域教育開発専攻

取組担当者:生方秀紀(釧路校教授)
発表者:神田房行(釧路校教授)

本取組の特色(1)

- 地域の課題に取り組み、地域と連携することができる人材の育成(本学の教育理念の一つ)
- 自然と共生する持続可能な地域社会を実現するための地域のファンリテーターを養成
- 東北海道地域をフィールドに、「地域融合キャンパス」をベースに、教科融合型の実践的カリキュラムを構築し実践

本取組の特色(2)

- システム的思考力、地域ビジョン形成や協働的地域活動の力量を培う。
- 学生ならびに公開講座受講者を「ESDプランナー」として認証する。
- ESDプランナーは、将来、自然再生、地域社会の活性化に貢献すると期待される。
- 地域協働型のESD推進センターを設置

学生の自己成長と地域の活性化

釧路校の地域教育開発専攻:

- 地域の現実の課題を直接題材として
- 教科融合型カリキュラム
- 学生の実践力、行動力を育てる

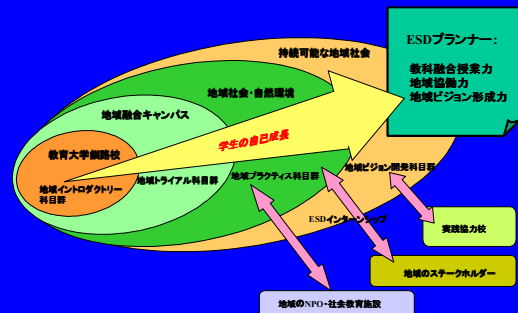
学生教育で培う能力:

- システム的思考力
- 地域協働力
- 地域ビジョン形成力

カリキュラム

- ◆地域イントロダクトリー科目群(1、2年次):
 - 地域教育や環境教育への動機付け。
 - 基礎知識や問題発見のための切り口、視点。
- ◆地域トライアル科目群(1、2年次):
 - 地域の自然に浸り、また地域の人々との交流
 - 体験的な理解、
- ◆地域プラクティス科目群(2、3年次):
 - 自らフィールドに、課題の発見。
 - 地域の人々とともに考え、行動する力
- ◆地域ビジョン開発科目群(3、4年次):
 - 地域ビジョンや教育プログラムを主体的に作りあげる。

カリキュラム構造の概念図



教育方法

- 教科融合・相互乗り入れ型授業科目の開設
- 地域人材の積極的活用
- 地域融合キャンパスの実現
- NPO・社会教育施設との連携
- 協力校における授業づくりへの参加

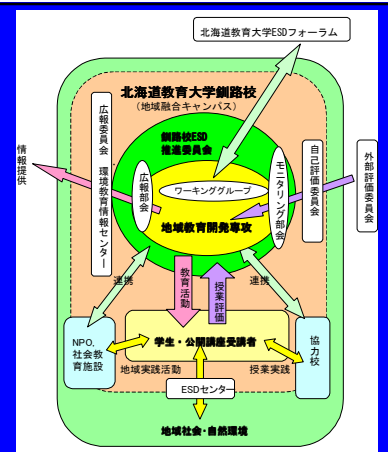
取組の実施体制

- 地域教育開発専攻は、多様な分野の教員13名によって構成
- 相互に緊密に連携・協力した組織的な指導体制
- 地域の教育委員会、NPO等と相互協力
- 「ESD推進センター」を設置
- 北海道教育大学の全学的環境教育推進組織と連携

マネジメント体制

- 「釧路校ESD推進委員会」
- ESD推進センター
- ワーキンググループ
- 実施状況モニタリング部会
- 自己評価委員会
- 外部評価委員会(最終年度)
- 広報部会

マネジメント体制 (概念図)



複数教員が連携した授業(1)



基礎演習(環境を読む)

複数教員が連携した授業(2)



基礎演習(環境を読む)

複数教員が連携した授業(3)



環境リテラシー

ふんだんなフィールド授業(1)



アウトドアトライアル(キャンプ・カヌー)

ふんだんなフィールド授業(2)



釧路湿原エコウォッチング

ふんだんなフィールド授業(3)



釧路湿原エコウォッチング

地域と連携した授業実践(1)



環境教育活動(地域農業体験)

地域と連携した授業実践(2)



環境教育活動(地域農業体験)

地域との連携(1) (構内植林)



地域との連携(2) (健康教室)



地域との連携(3) (構内清掃)



ESDプランナー養成公開講座



写真は18年度、環境教育についての公開講座